

2017 年ワシントン新春祭り

企画担当理事 武本

1月29日(日)、マリオットワードマンパークホテルにて、ワシントン日本商工会とワシントン日本商工会財団共催による、2017年ワシントン新春祭りが開催されました。

昨年は米国東海岸を襲った豪雪のために急遽1週間延期したことでご迷惑をお掛けしましたが、今年は少し肌寒かったものの、晴天に恵まれ、おかげさまで昨年よりも200名以上多い、約1,950名近くの方に会場に足を運んでいただきました。

開場に先立ち、神職金輪久仁子様より新春祭りの成功、会員の安寧と繁栄のご祈祷の奉仕をいただき、開場と共に、お子様が小さな子供神輿を鳥居から舞台まで担いでいられました。和太鼓とともに始まったオープニングセレモニーの後に、佐々江賢一郎駐米日本大使と信子夫人にご臨席を賜り、大使ならびに1月に就任した一色ワシントン商工会新会長より開会のご挨拶をいただきました。日本と米国の国歌斉唱の後には、獅子舞や空手の演武、コーラスなどのパフォーマンスが続きました。会場では、壁に子供たちのお正月をテーマにした元気いっぱいの絵が飾られ、駄菓子やお面などのおもちゃの販売、書初め、カルタ取り、コマ回し、折り紙、羽根つき、射的など日本の伝統的な行事やゲームが用意され、来場者を迎えました。餅つきの実演では、今年は子供用の杵を用意することで小さなお子様にもお一人でお餅をついていただけました。また多くの方が、日本食販売コーナーのお雑煮やたこ焼き、焼きそばなどの日本食を楽しまれていました。



昨年は、就航30周年を迎えた全日空に青い達磨を頂いて左側の目入れをしました。そして今年は、全日空の機内で流れる楽曲のバイオリン生演奏の中、もう一方の右側の目入れを行ない、就航31周年を祝いました。その後、ステージではカルタ、マルバツゲーム、けん玉の早撃打ちやプロに



よるけん玉デモンストレーション、太鼓の演奏、コーラスなどのパフォーマンスが披露され、最後に日本大使館職員と商工会理事等によるバンド演奏を終えたところで、新春祭りは無事お開きとなりました。お客様には日本のお正月の雰囲気を楽しんでいただけた一日になったことと思います。

ワシントン新春祭りは、200名を超えるボランティアによって、会場準備・受付からゲームや餅つき実演、そしてお菓子・おもちゃ・日本食販売、さらには会場の後片付けなどが行なわれております。ワシントンでのコミュニティの関係の強さを再確認しつつ、さらにその絆が強くなった一日だったと思います。新春祭りの実施にあたり、日本大使館を始め、寄附や景品の協賛などをいただきました団体・企業・個人の皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。



ワシントン日本商工会では、新春祭りのほかにも会員ならびに会員以外の皆様にご参加いただける様々なイベントを開催しています。詳しくはワシントン日本商工会ウェブサイト(<http://jcaw.org/main/>)をご覧ください。

以上

